

# 簡易レポート

2024年4月21日

野田頭 宣教

日本語と言うのは、学んでいく上でかなり難しい事がわかりました。学校文法と呼ばれるもの、その上の文章等理解が難解になります。なぜならば、

文の書き方によって意味の持たせ方が変わります。読点（、）は打つ位置位置によって、使い方によって変わってきます。これを、理解しましょう。

## 1.大きな、幾何学模様の 辞書

三角形や四角形などの模様が大きな辞書。

## 2.大きい 幾何学模様の、 辞書

辞書自体が大きくて、外装が四角形や三角形が描かれた辞書

これ、二つの文章で意味が違うのがわかりますか？ 1番と2番で文章は同じですが点、を打つと文章の意味そのものが変わります。ここで言う「意味」は通常の意味とも申しあげておきます。詳しくは割愛しますが、複数辞書で「意味」を引いて見ると、その表現が理解できます。

また、日本語文法事典によると一文における文の意味・理解は二通りあると言われていています。そして細かいところですが、イントネーション等音韻、アクセントとも表現できるでしょうか、これらの意味が重なると解釈自体が複数あると理解が私はできます。だから、日本語は難しいのだと。その都度、確認を取る必要があると思っています。